

日時：平成22年9月15日(水) 18:30～20:30

会場：練馬区役所本庁舎 20階 交流会場

#### 1. 事務局長挨拶

事前に資料を送らせていただいた中には地域福祉活動計画の素案 NO.1 の資料があります。本日は地域福祉活動計画の素案に関する意見交換の時間を取らせていただき、委員さんのご意見を伺い、どう盛り込んでいくかなどについて、検討させていただきたいと思っております。皆様のご意見を参考に検討させていただき、次回の策定委員会までに文章化し、具体的にお示しできるようにします。

本日は区の地域福祉経営課より地域福祉計画との関係で社協へ期待することを聞かせていただけたと思います。本日はよろしく申し上げます。

#### 2. 配布資料確認 資料1～7(事前配布) 当日配布1～2

#### 3. 現行地域福祉活動計画報告

委員長：広報委員会、相談委員会の報告は資料1を参考に読んでいただければと思いますか、質問等があればお願いします。

#### 4. 地域福祉計画について [地域福祉経営課 地域福祉係]

・社協への期待する役割についての説明(地域福祉計画)・・・当日配布資料参照

#### 5. 第3次地域福祉活動計画 素案 NO.1 について・・・配布資料参照

##### 【意見・質疑応答】

・練馬区は地域福祉計画はどうなっているのか分かりませんが、地域福祉活動計画は社協だけではできない。つながりのある地域をつくるためには、住民の意識改革をやらねばなりません。区の計画も経営課だけでなく他の所管も一緒になって取り組むことが必要になります。地域福祉計画ではその辺はどうですか。

→取りまとめは経営課が行いますが、地域振興課でも区民との協働の指針をまとめ、その中でも町会等とどのように取り組んでいくかなど、具体的に今後検討していくことになります。

・作る時は内容に盛り込まれるが、計画が進むにつれて担当も変わり推進しようとする意識も薄れてきます。それを防ぐためには、庁内連絡会などを計画の最初の段階で盛り込み、計画化していくといいです。区の計画が扇のかなめになってくるのは事実です。

・社協では子供関係の事業は行っていませんし、この地域福祉活動計画のどこかに触れなくていいですか？

→行政は縦割りで動いていますが、地域福祉活動計画は縦割りでできない部分があり、子どもも障害者も高齢者も地域の一員であります。その地域全体を把握しての関わり方が大事です。つまり、地

域は分野を超えること、分野を分けることができないものだと思います。地域福祉コーディネーターはその役割を担う事になると考えます。練馬区社協は障害分野が強いことを売りにしていましたが、子どもの関係のこともボランティアセンターの相談や在宅での相談でも受け付けています。決して忘れていた訳ではなく、当たり前に入っていると考えていますが、地域福祉活動計画の取り組みにも意識して入れることはできます。子育ての部分も頭の隅において計画を書いていくように考えています。

- ・ ホームレスの対策、生保の家庭への支援などを小地域で行っているところもあります。立川市では、高齢者の食事サービス、喫茶のような住民活動、子供を預けるなどのサービスを行っています。あり得そうな事例、想定できる事例を物語のように書くのもいいのではないのでしょうか。小地域で住民同士をつなげるだけでうまくいくことがあります。出来上がった活動計画を想像すると、どういうイメージかわかりませんが、言いたいことはどこかにまとめて入るとわかりやすいです。現段階の素案の章立ては前が重くなることが予想されるので、前が重くならないように、巻末に資料としてまとめるなど編集の工夫が必要になります。
- ・ 今の社会情勢（自殺者、派遣村、高齢者の問題）をどう反映し今の日本の情勢と練馬の情勢をどう書いていくのですか？背景についてははどのように触れていくのですか？  
人材の育成は大事であります、社協の職員数をどう考え、配置しようと考えていますか？  
→区の計画を踏まえながら進めて行きます。増員の方向で示したい。また、各部署で行っている相談事業などがありますので、連携を取りながら進めていきます。
- ・ 高齢者の消息不明の問題についてなど、国民は行政に対して甘えている面もあると思います。資料6の絵のところですが、渡辺さんが健康であることを前提として捉えているイメージになっています。その絵の地域福祉コーディネーターの役割は、町会ができると思います。町会の加入率が3割~4割であることが懸念される場所なのですが、町会に魂を吹き込んでいく方法を考えた方がいいのではないかと思います。
- ・ 社協の地域福祉コーディネーターの良いところは町会に働きかけられるところです。ゴミ問題など福祉ではないように見えるし、行政的には福祉ではないが、地域福祉コーディネーターのセンスしだいで「ゴミを出せない人がいる」と言うところから人の安否確認、その区域のつながりなどが形成されます。また、生活の様子が聞けたり、見えたりすることもあり、援助が必要な人を探すこともできます。  
→資料6の絵は、渡辺さんが支えられる側になっていくことを想定して書かせていただきました。しかし、支えているときに支えられることもありますし、その反対もあります。
- ・ 地域福祉活動計画は、社協だけが新たにつくるのではなく、地域福祉団体や町内の既存団体との連携も行いながら計画を進めていくことが大事であります。  
→地域福祉活動計画に関する資料が出来上がったなら地域のリーダーに配布する予定であります。また、ダイジェスト版もつくる予定であります。
- ・ 人件費以外の費用も少なからずかかります。
- ・ 社協が本来やるべきことを分かりやすく説明して示すことが大事であります。社協は正規職員と非正規職員の半々ぐらい。それを少しでも正規職員の比率が上がるような形で考えていきたいです

- ・ 職員の数だけを増やすことだけではうまくいかないのでは、発展強化計画での優先順位などを把握し、組織を強化していくことが求められます。
- ・ 町会を動かすのは行政が出て来て旗を振った方がいいです。役所がこのようにやりましようと言った方が動きやすいです。みんなが動くと思います。
- ・ 地域が何を求めているのか、それを見つけることが重要であります。資料6の名前が書いてあるところを空欄にし、自分の名前と自分と関わりを持っている人の名前を書き込めるようにするのがいいのではないのでしょうか。
- ・ 社協はどういうところかと質問されたことがあります。一般の人はもっと分かりづらいと思います。地域福祉活動計画の資料などをどこに、だれに配布するのかが大事であります。資料6をQ&Aのように工夫したらどうでしょうか。用語も含め内容をどこまで細かく説明するのですか？  
→ダイジェスト版をつくる予定であります。
- ・ 以上の内容などを作業部会で検討して欲しいです。  
→本日いただいた地域福祉活動計画に関する意見を踏まえて、区民にどう訴えていくかを考え整理して示します。今日の案件について次回もう1回行いますので、ご意見などがあればお願いします。
- ・ 小地域福祉活動、地域福祉コーディネーターの進み具合を聞かせて下さい。  
→今年は活動団体にヒアリングを行っており、地域に出て、「ツボ」を探っています。  
小地域福祉活動のモデル地域に地域福祉コーディネーターを配置して活動を始めるのが計画の1年目で導入時期となります。同時に推進評価を行い、3年目には総括評価、4年目には次の小地域福祉活動に向けての提言や予算請求などをしていきます。  
→ボランティアコーナーを活用し地域福祉コーディネーターをサポートすることも考えています。
- ・ 委員さんは今日の素案を持って帰って、委員自身も含め周辺の意見をもらえるなら聞いて、社協に連絡するようお願いいたします。  
コラムのイメージを教えてください。  
→住民の地域福祉実践の話になります。文章だけでなく写真も一緒に入れたいです。例えば、練馬のあるお店では、障害者の雇用の受け入れをしていただいております、地域福祉の事例として適切であるので、お願いしたいです。ショップ学園通りなどにもお願いしたいです。
- ・ 地域福祉活動計画を自分で書きたい職員がいるのではないのでしょうか？ 職員皆が一緒に作っていい  
った方がいいのではないのでしょうか。

## 6. まとめ

## 7. 次回の日程について

次回策定委員会の日程は以下のとおりとなりました！

第3回 2010年11月11日（木）18:30～ 本庁地下1階 多目的会議室

第4回 2011年1月26日（水）18:30～ 本庁19階 1902 会議室